

前橋市消防局の現況



前橋市消防局庁舎（平成12年3月竣工）

〒371-0014

群馬県前橋市朝日町四丁目22番2号

TEL 027-220-4500(代)

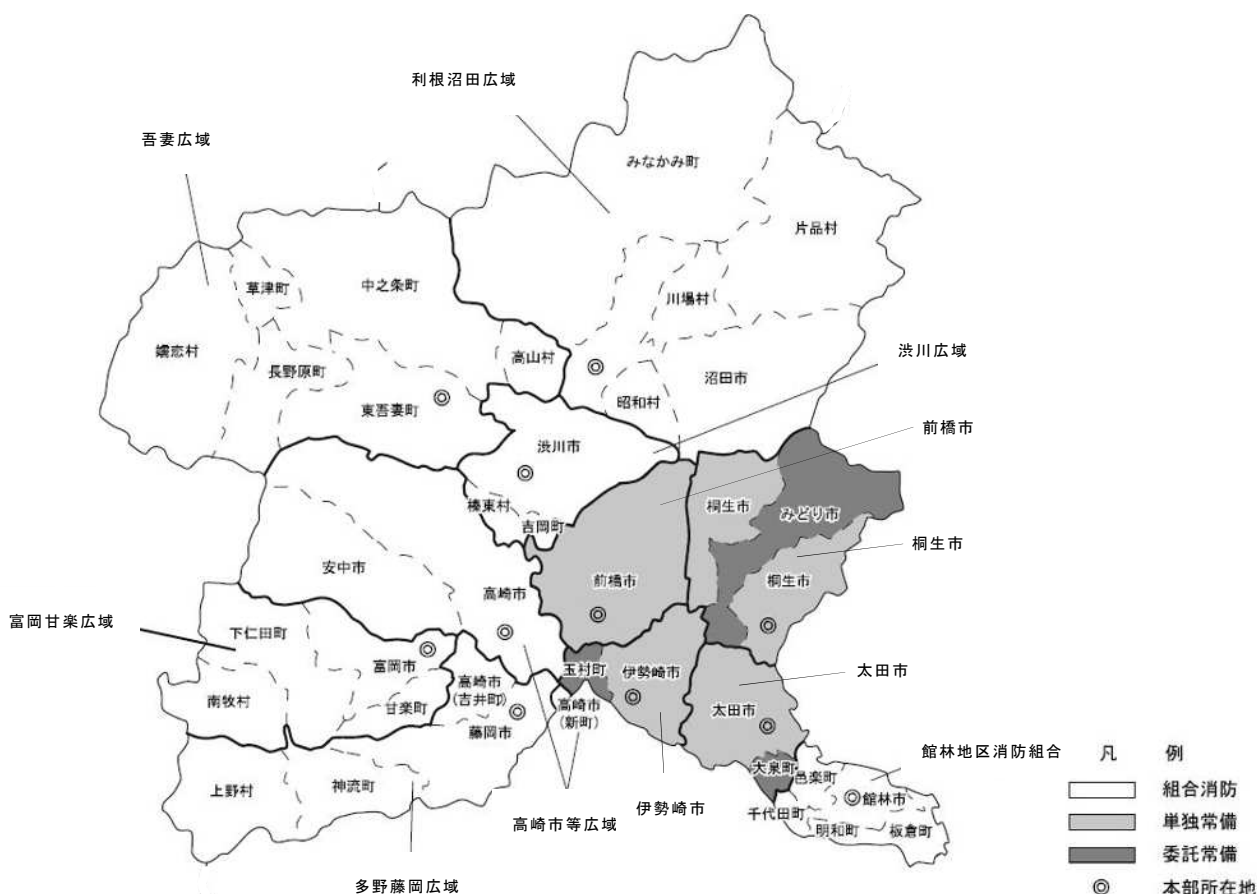
FAX 027-220-4528

1 位置及び地勢

当市消防局は、関東平野の北端で、群馬県の中央部よりやや南東に位置しております。

地勢的には、管内北部に名峰赤城山があり、利根川、広瀬川、赤城白川、荒砥川及び粕川が流れ、水と緑と豊かな自然環境に恵まれています。

群馬県の各消防本部（局）の管轄区域図



2 管内の面積、人口及び世帯数

(令和8年4月1日現在)

面積 (k m ²)	人 口 (人)			世帯数 (戸)
	総人口	男	女	
311.59	326,186	159,452	166,734	158,508

3 消防の沿革

平成 11 年 4 月 1 日旧前橋市消防本部と勢多中央広域消防本部が
統合したため、それぞれの消防本部の沿革を記載

消防組織法制定 以前	【前橋】前橋は厩橋城の城下町であったことから、消防組織も他の地域と同様に定火消し、大名火消し及び武家火消しというように変遷してきた。 明治 19 年にドイツ型腕用ポンプの配置、明治 27 年勅令により消防組が誕生し、その後蒸気ポンプが配備された。 また、昭和 5 年 4 月に常備消防部が発足し、専任消防手 3 名が誕生した。 【勢多】明治 27 年の勅令により消防組が発足、その後昭和 22 年の勅令により消防団令が制定公布され、自主的かつ民主的な消防団がそれぞれの町村に組織された。
昭和22年12月23日	消防組織法が公布され、昭和 23 年 3 月同法が施行された。
昭和28年 4月 1日	【前橋】前橋市消防本部発足、職員数 40 名
昭和32年10月 1日	【前橋】県内初の救急隊発足、救急業務を開始した。
昭和34年11月 1日	【前橋】消防本部・消防署庁舎（旧本部・中央消防署庁舎 前橋市本町）落成
昭和36年10月 1日	【前橋】職員数 70 名
昭和37年 5月26日	【前橋】消防署（現中央消防署）に 18 メートル級はしご付消防ポンプ自動車を導入配備した。
昭和40年 3月 1日 7月 1日	【前橋】消防音楽隊発足 職員数 91 名
昭和42年 3月 1日	【前橋】消防署分署（旧東分署 前橋市天川大島町）開設
昭和42年 4月 1日	【前橋】職員定数 112 名 実員 110 名
昭和43年 4月 1日	【前橋】職員定数 122 名 実員 122 名
昭和44年 4月 1日	【前橋】総務課、警防課に加え予防課を設置し、消防本部 3 課となり予防行政の充実を図った。
昭和45年 2月 3日 7月 1日	【前橋】消防署西分署（現西消防署）開設 消防署分署を消防署東分署に改名する。（1 署 2 分署体制） 【前橋】職員定数 139 名 実員 139 名
昭和46年 4月 1日	【前橋】職員定数 159 名 実員 159 名

5月 1日	【前橋】 特科小隊（現高度救助隊）が発足するとともに消防署西分署（現西消防署）に 30 メートル級はしご付消防自動車を導入配備した。
昭和48年 4月 1日	【前橋】 職員定数 183 名 実員 159 名
昭和49年 1月17日	【前橋】 消防署赤坂分署（現中央消防署赤坂分署）開設（1 署 3 分署体制）本部に通信室を新設する。（本部 3 課 1 室体制）
4月 1日	【前橋】 職員定数 187 名 実員 187 名
昭和50年 3月31日	【前橋】 救急指令装置 B 型設備完備
4月 1日	【勢多】 勢多中央広域消防本部発足 職員数 29 名 構成町村及び管内は、富士見村、大胡町、宮城村及び粕川村
9月27日	【勢多】 消防本部・消防署庁舎（現東消防署）及び消防署西分署（現北消防署白川分署）完成
昭和51年 4月 1日	【勢多】 職員定数 40 名 実員 40 名
11月15日	【前橋】 県内初の救助工作車及び化学車を導入配備した。
昭和52年 3月31日	【前橋】 東分署城南出張所（現南消防署城南分署）開設
4月 1日	【前橋】 職員定数 194 名 実員 194 名
昭和53年 3月 8日	【勢多】 山林火災対策用としてトヨタランドクルーザー（四輪駆動車）を導入配備した。
3月31日	【前橋】 西分署利根出張所（現西消防署利根分署）開設 特科小隊を救助小隊に改名した。
4月 1日	【前橋】 職員定数 200 名 実員 200 名 【勢多】 職員定数 50 名 実員 49 名
8月30日	【勢多】 消防通信指令システムを整備
昭和54年 7月 1日	【前橋】 職員定数 214 名 実員 214 名
昭和55年 4月 1日	【前橋】 ・ 【勢多】 群馬県救急医療情報サブセンターを設置 【前橋】 職員定数 222 名 実員 222 名 【勢多】 職員定数 56 名 実員 55 名 【前橋】 消防署（現中央消防署）に 30 メートル級はしご付消防自動車を導入配備した。 （更新）
昭和56年 4月 1日	【前橋】 職員定数 230 名 実員 230 名
昭和57年 3月29日	【勢多】 救助訓練施設完成
4月 1日	【前橋】 消防署予防査察係（現中央消防署地域安全係）を新設、予防行政の強化を図った。 職員定数 238 名 実員 238 名
昭和58年 4月 1日	【前橋】 消防署北分署（現北消防署）開設、これに伴い赤坂分署を北分署赤坂出張所（現中央消防署赤坂分署）に組織替えした。

	消防総合通信指令システムを導入、通信業務の拡充強化を図るとともに通信室を通信指令室に改名した。
	職員定数 244 名 実員 244 名
10月 1日	【勢多】消防署の機構改革を行い、中隊制を導入した。
12月20日	【前橋】消防署北分署（現北消防署）に 6 階建て総合訓練塔が完成した。
昭和59年 4月 1日	【前橋】職員定数 246 名 実員 246 名
8月16日	【前橋】消防署北分署（現北消防署）に 15 メートル級はしご（バスケット）付消防ポンプ自動車を導入配備した。
12月24日	【前橋】電源照明車を導入配備した。
昭和60年 4月 1日	【前橋】職員定数 250 名 実員 250 名
昭和61年 1月21日	【勢多】消防署西分署（現北消防署白川分署）庁舎移転新築した。
4月 1日	【前橋】消防署南出張所（現南消防署）開設 組織改編を行い、1 署 3 分署 4 出張所体制にした。
昭和62年12月10日	【前橋】消防署（現中央消防署）に 30 メートル級はしご付消防自動車を導入配備した。 （更新）
平成元年 4月 1日	【勢多】職員定数 62 名 実員 62 名
平成2年 3月30日	【前橋】新基準による特別救助隊仕様の救助工作車を導入配備した。（更新）
平成3年 4月 1日	【勢多】本部の機構改革を行い、2 課 5 係（総務課は総務係、経理係、企画係、予防課は予防係、指導係）制とした。
12月24日	【前橋】緊急通報システム装置を設置した。
平成 4年 1月21日	【勢多】消防緊急通信指令施設（I 型）を整備した。
4月 1日	【前橋】職員定数 262 名 実員 254 名 週 40 時間に伴う増員計画始まる。 予防課に危険物係を新設し、各分署に日勤の予防担当（現在の地域安全係）を配置した。
平成 5年 1月 6日	【前橋】救急救命士誕生
4月 1日	職員定数 274 名 実員 272 名
	【勢多】職員定数 79 名 実員 66 名 専任消防長任命される。
12月14日	【前橋】聴覚障害者緊急通報用 F A X を設置した。
平成 6年 4月 1日	【前橋】職員定数 286 名 実員 284 名 高規格救急車を導入し、救急救命士による運用を始めた。
9月6日	【勢多】消防発足 20 周年記念式典開催
平成 7年 1月21～ 27日	【前橋】阪神淡路大震災に救助隊 1 隊 6 名派遣
4月 1日	職員定数 298 名 実員 296 名
6月20日	サリン対策用として化学防護服 10 着導入

平成 7年11月12日	消防音楽隊発足 30 周年記念式典開催
平成 8年 4月 1日	【前橋】職員定数 310 名 実員 310 名 【勢多】職員定数 79 名 実員 75 名
平成 9年 3月27日 4月 1日 7月2日 11月13日	【前橋】緊急消防援助隊仕様の救助工作車（Ⅲ型）を導入配備した。（更新） 職員定数 321 名 実員 320 名 【勢多】職員定数 79 名 実員 77 名 前橋広域市町村圏振興整備組合理事会において、前橋市消防本部と勢多中央 広域消防本部を平成 11 年度統合することで合意された。 【前橋】震災対策用として小型動力ポンプ積載の軽自動車を導入配備した。
平成10年 4月 1日 4月 7日 4月20日 10月15日	【勢多】職員定数 79 名 実員 78 名 【前橋】緊急消防援助隊仕様の支援車（支援資機材含む。）を導入配備した。 【勢多】高規格救急車を導入し、救急救命士による運用を始めた。 【前橋】群馬県内を 4 ブロックとした、携帯電話等からの 119 番通報転送システム運 用開始
平成11年 4月 1日	前橋広域消防本部発足 職員定数 400 名 実員 400 名 総務課に企画係を、警防課に救急救助係を新設する。
平成12年 3月24日 3月31日 4月 1日 4月25日	中央消防署に 38 メートル級はしご（バスケット）付消防自動車を導入配備した。 （更新） 前橋広域消防本部庁舎（前橋市朝日町四丁目）竣工 新庁舎建設に伴い地域住民の防災意識の高揚を図るため前橋市防災センターを併設 した。 新庁舎移転に伴い組織の再編を行った。 通信指令室を通信指令課に改名するとともに同課に管理係を新設した。 南出張所の分署への格上げ、千代田出張所の新設等、消防署所の再配置を行った。 新通信指令システム運用開始 前橋広域消防本部・新通信指令システムが運用を開始、事務機能の全てが移転した。 これに伴い旧本部庁舎（前橋市本町一丁目）、旧東分署（前橋市天川大島町）を完 全閉鎖
平成13年 3月12日 4月 1日 4月25日	中央消防署北分署（現北消防署）に 15 メートル級のはしご（バスケット）付消防ポ ンプ自動車を導入配備した。（更新） 消防署の機構改革を行い、各分署・出張所の名称を変更し 5 署 5 分署体制とした。 併せて消防署の管理係・予防係は、地域安全係と名称を変更統一した。 画像伝送システム運用開始 消防本部庁舎屋上に設置した衛星地球局及び高所カメラによる画像伝送システムが 運用を開始した。

平成14年 2月	国からテロ対策資機材の貸与を受けた。
3月12日	中央消防署に緊急消防援助隊仕様のタンク車を導入配備した。（更新）
平成15年 3月 6日	千代田分署に緊急消防援助隊仕様のタンク車を導入配備した。（更新）
11月27日	中央消防署に電源照明車を導入配備した。（更新）
平成16年 2月19日	西消防署に緊急消防援助隊仕様のタンク車を導入配備した。（更新）
12月 5日	前橋市消防本部発足 広域圏行政を遂行してきた 5 市町村のうち富士見村を除く 4 市町村が合併するとともに、前橋広域市町村圏振興整備組合が解散、新たに前橋市消防本部が設置された。 （富士見村の常備消防事務については、本市が事務委託を受ける形で継続）
平成18年 4月 1日	各消防署に指揮隊を新設した。
平成19年 4月 1日	東消防署宮城分署が開署（5 署 6 分署体制となる。） 平成 16 年に市町村合併した旧 3 町村の消防力を強化した。
平成20年 4月 1日	県内初となる高度救助隊発足 隊員 18 名
平成21年 4月 1日	前橋市消防局発足 職員実員 399 名 前橋市消防局に名称変更した。
平成21年 5月 5日	富士見村と合併
平成22年 4月 1日	高機能消防指令センター運用開始 中央消防署に衛星小型可搬局消防救急無線アダプタを積載した通信中継車を導入配備。地域衛星通信ネットワークを活用した消防救急無線を衛星中継するシームレス通信を全国初実現 中央消防署高度救助隊員 6 名を、国際消防救助隊に登録した。
平成23年 4月 1日	デジタル無線（活動波）運用開始
4月13日	中央消防署に救助工作車（Ⅲ型）を導入配備した。（更新）
平成24年 3月10日	前橋市消防音楽隊第 1 回定期演奏会を開催
平成25年 3月25日	中央消防署に圧縮空気泡消火装置（C A F S）搭載タンク車を導入配備した。 （更新）
3月26日	西消防署開署 消防署庁舎の老朽化に伴い、新築移転したもの
平成26年 4月 1日	千代田分署を再編し、専任救急隊を配置した。
12月 9日	西消防署に 30 メートル級はしご付消防自動車を導入配備した。（更新）
平成27年 4月 1日	職員定数を 405 名とした。（実員 400 名）

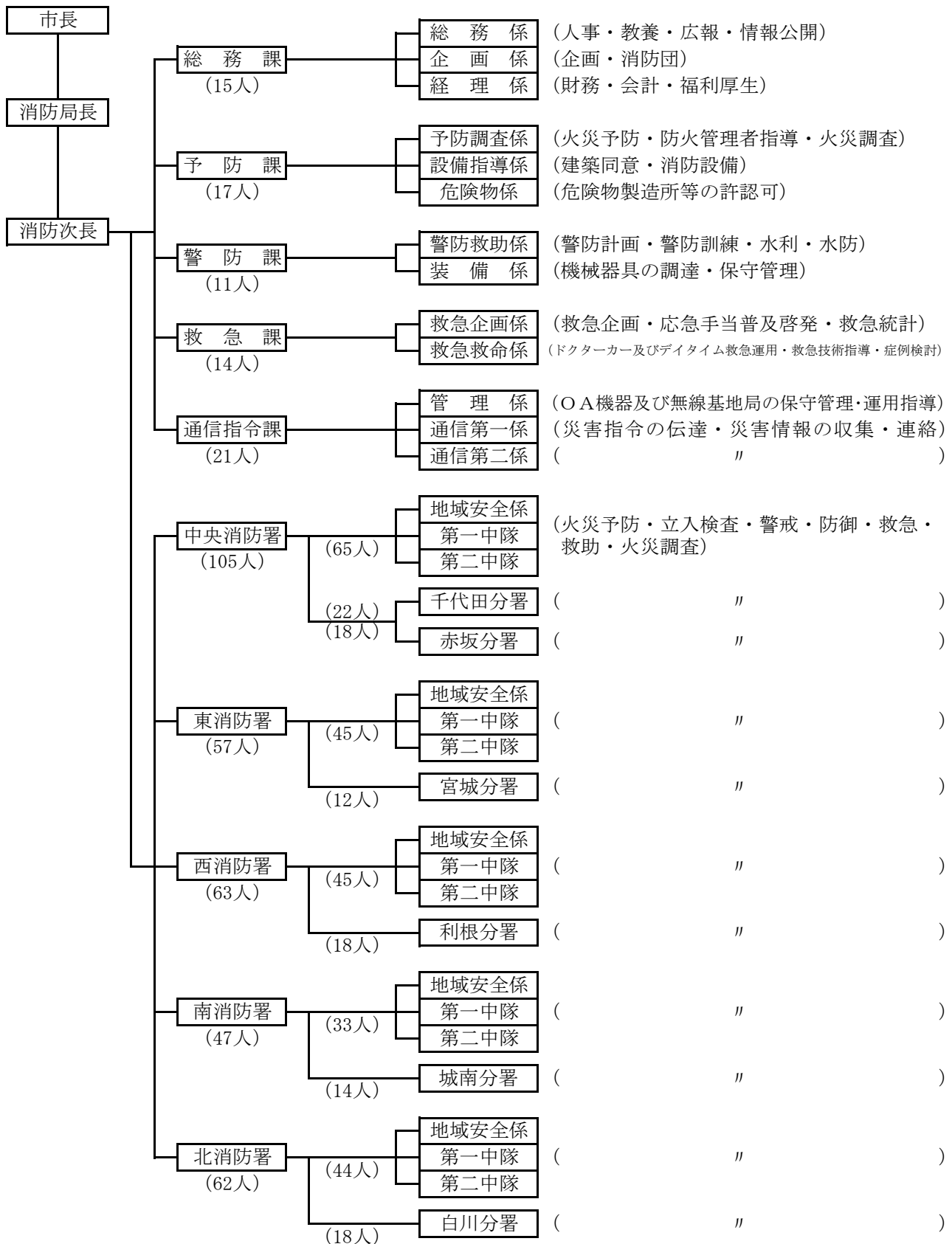
	組織改編により、予防課予防係を予防調査係へ警防課警防係を警防救助係へ、救急救助係を救急救命係とした。
平成29年 2月 25日	東消防署開署 消防署庁舎の老朽化に伴い、新築移転したもの
平成30年 1月 24日	白川分署に緊急消防援助隊仕様のタンク車を導入配備した。（更新）
平成30年 4月 1日	職員定数を 406 名とした。（実員 405 名）
6月 1日	前橋赤十字病院の新築移転（朝倉町）に伴い、救急ワークステーションを設置した。
平成31年 2月 1日	消防局に人員輸送車（消防支援車Ⅲ型）を導入配備した。（更新）
2月 27日	南消防署城南分署開署 消防署庁舎の老朽化に伴い、新築移転したもの
3月 8日	中央消防署千代田分署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
平成31年 4月 1日	消防次長を設置した。
令和2年 1月 21日	南消防署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
6月 11日	西消防署利根分署開署 消防署庁舎の老朽化に伴い、新築したもの
12月 24日	中央消防署赤坂分署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和3年 12月 23日	南消防署城南分署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和4年 3月 24日	西消防署利根分署に圧縮空気泡消火装置（C A F S）搭載タンク車を導入配備した。 （更新）
4月 1日	組織改編により、救急課を新設した。 警防課救急救命係の業務を救急課救急企画係及び救急救命係へ移管した。
12月 21日	東消防署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和5年 11月 20日	中央消防署に救助工作車（Ⅲ型）を導入配備した。（更新）
12月 20日	西消防署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和6年 2月 14日	西消防署にタンク車を導入配備した。（更新）
3月 21日	東消防署に指揮車を導入配備した。（更新）
11月 14日	消防局に高規格救急車を導入配備した。（更新）

令和6年	12月13日	北消防署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和7年	3月12日	東消防署宮城分署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和7年	4月 1日	職員定数を 426 名とした。（実員 409 名）
令和7年	7月 2日	西消防署利根分署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和7年	10月10日	中央消防署に 38 メートル級はしご付消防自動車を導入配備した。（更新）
令和7年	11月21日	中央消防署に特殊災害支援車（資機材搬送車）を導入配備した。（新規）
令和8年	1月 30日	中央消防署千代田分署に高規格救急車を導入配備した。（更新）
令和8年	2月 20日	中央消防署赤坂分署開署 消防署庁舎の老朽化に伴い、新築したもの

4 組織図

(令和8年4月1日現在)

定員 426人 実員 414人



※各消防署の人員は消防署長含む。

5 消防局及び署・分署の配置図



- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ● 消防局 (朝日町四丁目 22-2) | ⑥ 西消防署 (大渡町二丁目 3-5) |
| ① 中央消防署 (朝日町四丁目 22-2) | ⑦ 利根分署 (小相木町 392-1) |
| ② 千代田分署 (千代田町一丁目 1-21) | ⑧ 南消防署 (西善町 766-2) |
| ③ 赤坂分署 (上泉町 1425-1) | ⑨ 城南分署 (二之宮町 1150-3) |
| ④ 東消防署 (樋越町 62-1) | ⑩ 北消防署 (上細井町 1794-1) |
| ⑤ 宮城分署 (馬場町 896) | ⑪ 白川分署 (富士見町小沢 191-1) |

6 消防庁舎等の現況

(令和8年4月1日現在)

区分 所属	所在地	建 物 概 要						備考
		敷地 ㎡	用途	構造	建築面積 ㎡	延面積 ㎡	竣工年月	
消 防 局	前橋市朝日町 四丁目22-2	6,065.33	本棟	RC造 5/1	1,579.86	7,589.24	H12. 3	敷地の内 684㎡は 借地
			車庫棟	RC造 1/0	225.60	225.60	H12. 3	
			訓練棟	RC造 5/0	80.34	265.55	H12. 3	
			訓練棟	RC造 3/0	48.88	146.64	H12. 3	
			危険物倉庫	RC造 1/0	15.00	15.00	H12. 3	
中 央 消 防 署	前橋市朝日町 四丁目21-9 前橋市朝日町 四丁目31-5 計	370.00 1,319.00 7,754.33	駐車場用地					借地
	千代田分署	816.52	事務所・車庫棟	S造 2/0	324.65	569.06	H12. 3	
	赤坂分署	4,265.47	事務所・車庫棟	S造 2/0	451.17	641.00	R8. 2	
	前橋市上泉町 1425-1 計	4,265.47	水防倉庫兼訓練棟	S造 1/0	182.54	180.00	R8. 2	
東 消 防 署	前橋市樋越町 62-1 計	6,819.10	事務所・車庫棟	RC造 2/0	1,179.76	1,743.00	H28. 9	
			自転車置場	S造 1/0	1.12	1.12	H28. 9	
			オイルタンク庫	S造 1/0	5.61	5.61	H28. 9	
			プロパン庫	S造 1/0	2.50	2.50	H28. 9	
			訓練塔	RC造 4/0	59.61	186.48	H30. 9	
			附属棟	RC造 3/0	75.41	206.35	H30. 9	
			酸素充填庫	CB造 1/0	4.46	4.46	H30. 9	
			車庫棟	S造 1/0	244.20	244.20	S56. 4	
	宮城分署	3,023.00	事務所・車庫棟	S造 1/0	585.48	551.90	H19. 3	
			自転車置場	アルミ造 1/0	8.92	8.92	H19. 3	
			計		594.40	560.82		
	西 消 防 署	2,991.23	事務所・車庫棟	RC造 3/0	787.10	1,668.08	H24. 11	
			訓練棟	RC造 4/0	68.86	184.96	H24. 11	
			水防備蓄倉庫	RC造 3/0	174.78	345.63	H24. 11	
			自転車置場	アルミ造 1/0	11.50	11.50	H24. 11	
			オイルタンク建屋	S造 1/0	8.67	8.67	H24. 11	
			計		1,050.91	2,218.84		
	利根分署	1,659.12	事務所・車庫棟	S造 2/0	451.17	641.00	R2. 5	
			倉庫兼訓練棟	S造 1/0	42.40	40.00	R3. 2	
	計	1,659.12			493.57	681.00		
南 消 防 署	前橋市西善町 766-2 計	4,334.00	事務所・車庫棟	RC造 2/0	550.82	646.32	S61. 3	
			車庫棟	S造 1/0	207.82	199.26	R5. 1	
			危険物倉庫	CB造 1/0	12.00	12.00	S61. 3	
			倉庫	S造 1/0	12.00	12.00	S61. 3	
			自転車置場	アルミ造 1/0	10.80	10.80	R5. 3	
	城南分署	2,771.24	事務所・車庫棟	S造 2/0	451.17	641.00	H30. 9	
			物置	アルミ造 1/0	4.89	4.89	H30. 9	
			自転車置場	アルミ造 1/0	10.80	10.80	H30. 9	
			倉庫兼訓練棟	S造 1/0	46.65	40.00	H30. 9	
			計		513.51	696.69		
北 消 防 署	前橋市上細井町 1794-1 計	3,350.00	事務所・車庫棟	RC造 2/0	796.73	1,291.17	S58. 3	
			訓練棟	RC造 6/0	115.32	394.14	S58. 12	
			便所	RC造 1/0	4.50	4.50	S58. 3	
			危険物倉庫	CB造 1/0	12.00	12.00	S58. 3	
			倉庫	CB造 1/0	12.00	12.00	S58. 3	
			自転車置場	S造 1/0	19.20	19.20	S58. 3	
	白川分署	4,462.00	事務所・車庫棟	RC造 2/0	392.60	543.68	S61. 1	
			計		392.60	543.68		

